

# 小型トラック用タイヤ検索システム

005111 高根 邦仁

(指導教員 速水 治夫 教授)

## 1 はじめに

近年では、技術革新により、タイヤの設計の自由度が向上し、また自動車メーカーが車種毎に多くのバリエーションを設定していることからタイヤの種類はかつてとは比べ物にならないほど増えている。事業者であるユーザがこの中から希望商品を選択することは時間や労力の無駄になりかねない。そこで、タイヤやデータベースの知識をあまり持たないユーザがタイヤに求める条件、あるいは使用車種を選択することで選択肢を大幅に絞り込むことができるシステムを作った。

## 2 システム構成

本システムはタイヤ情報の検索機能とデータベースにタイヤ情報を追加する機能を持つ。

タイヤ情報検索機能では、まず利用者がタイヤ検索条件入力画面にタイヤに対する希望条件を入力するか車名検索条件入力画面から使用車種を選択し、その入力された情報を元にデータベースにアクセスして利用者にあった商品を検索する。

検索結果はタイヤ検索結果表示画面に表示される。また、タイヤ検索結果表示画面に表示されたタイヤの銘柄についての詳しい情報をタイヤ銘柄情報表示画面に表示する。

タイヤ情報追加機能では新規入力画面に追加したいタイヤ情報を入力する事でデータベースに登録する事が可能である。

本システムの構成を図1に示す。

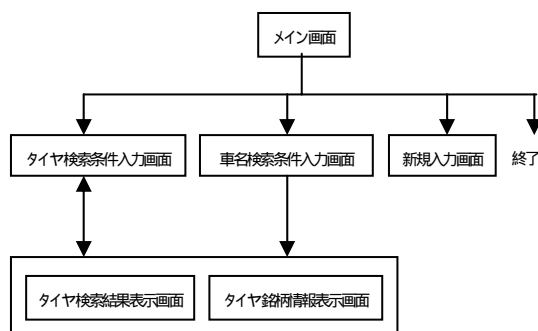


図1 システム構成図

なお、タイヤ検索条件入力画面および車名検索条件入力画面では条件入力にコンボボックスを用い、ユーザの入力の負担を軽減している。

タイヤ検索条件入力画面を図2として示す。

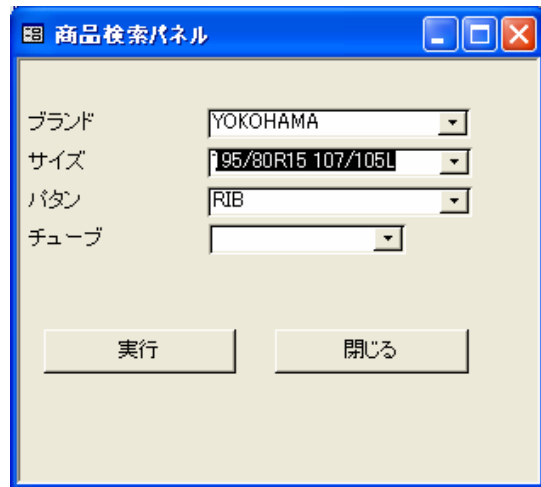


図2 タイヤ検索条件入力画面

## 3 評価

タイヤやデータベースに関する知識を多く持たないユーザが素早く正確にタイヤを検索することができるかどうかを確かめるため小型トラックユーザにシステムを試用してもらったところ、従来のカタログから検索する方法に比べ、検索時間の短縮が見られ、さらに検索漏れも発生しなかったため、基本的に目的は達したと判断されるものの、検索結果の印刷機能が用意されておらず、検索時にタイヤの専門用語が頻出するなどの問題点も判明した。

## 4 今後の展望

システム評価の際に明らかになった印刷機能の問題や、専門用語の問題を解決し、さらにネットワークに対応させて多くのユーザが利用できるようにする等、より実用化を高めていく必要がある。